

君津市「文化のまちづくり市税1%支援事業」

「新たな貞元地区文化の創造」

ていげん
貞元まちづくり

No 4

発行 平成22年3月19日

編集 貞元地域まちづくり推進委員会

君津市上湯江1287-3

貞元コミュニティセンター内

TEL 0439-52-8030

21年度活動を振り返り

今年度は・調査資料のまとめ・提案事項のまとめをテーマに活動しました。

年度前半の活動は、会報No 3に記載してありますので、ご参照ください。

ワークショップ（地区別環境点検）

9月 小香・新御堂地区



◎小香（左） ホタルと棚田の里

まとめ ホタルと自然と共生できる環境をつくる必要がある。



◎新御堂（右） 稲むらの会

まとめ 里山の風景を残すむら

課題 里山を整備して楽しい地域の学習と交流を通じて活力の礎とする。

11月 下湯江地区



◎下湯江（左） 三舟山の台地



まとめ 房総往還と三舟山台地を生かした里づくり

課題 ハイキングコースの整備

◎下湯江（右） 庭木探検隊

休耕地が少なく、手入れの行き届いた庭や大木も多く酒蔵があり、ゆったりした豊かな感じのする街

課題 ①整備されているにもかかわらず道幅の狭いところもある側溝にふたが欲しい。

②県道（君津大貫線）交通量多い。



◎下湯江 殿山会

立派な住宅街と小糸川左岸の不法投棄のアンバランスが目立つ、広々とした稲田の広がりには心のやすらぎになる。

1月 八幡・杉谷地区



◎八幡（左） 清水（せいすい）の郷

まとめ 1. 豊富な清水のあることを知り、清水を活かして土地利用を考える。

2. 小糸川左岸を整備し、右岸との回遊歩道とする。

3. 休耕地と竹の利用を考える。

◎杉谷（右） 空から地下まで有効利用

まとめ 小さい集落ながら水・陸・空三つの資源を有効活用する個性豊かな杉谷

課題 近隣との連携でもっと有効利用すればすばらしい住みよい集落ができる。

清水の源である林の整備、クラインガルテン開園、盆栽庭園のアピール、先人の知恵の活用。

7月 吾郎助山・クインガルトンの見学

貞元基礎調査報告会

○8月 さだもと地区子どもの遊び生活環境の結果

○11月 貞元地域の暮らしの姿

(以上 会報No.3参照)

2月 貞元地域土地利用分布について



発表する須川君

昨年、皆様のご協力
で調査した貞元地域の土
地利用分布について、千
葉大学大学院地域計画
学研究室の須川陽平君
がまとめました。

分布図は、地区毎に作成され、パソコンで見
ることができます。

各地区の分布について

1. 中富地区
 - ・ 田や畑に囲まれ耕作地の面積が広い。
 - ・ 宅地以外のほとんどが耕作地。
 - ・ 荒地・休耕地の割合が高い。
 - ・ 幹線道路沿いと川沿いに荒地が存在する。
2. 下湯江北（小糸川方面）
 - ・ 水田がまとまって存在する。
 - ・ 荒地・休耕地が幹線道路、川沿いに存在。
 - ・ 道路沿いに事業所が見られる。
3. 下湯江南
 - ・ 荒地・休耕地の割合が少ない。
 - ・ 事業所が幹線道路沿いに見られる。
4. 上湯江地区
 - ・ 北の低地では水田地帯、南の高台では畑が多い。
 - ・ 休耕地の面積は少ないが、荒地がまとまって存在する。
 - ・ 特に谷津田の荒地が目立つ。
 - ・ 水田地帯の荒地は、減反によるものだと思われる。
5. 小香地区
 - ・ 水田、畑、果樹の分布に偏りが無い。
 - ・ 荒地、休耕地の割合が多い。
 - ・ 地形的に農業を行う条件が悪いので、荒地・休耕地が多いと考えられる。
6. 貞元地区北（釜神方面）
 - ・ 土地利用のなかで、水田地帯が割合を多く占める。
 - ・ 休耕地の割合が非常に少ない。
 - ・ 荒地が多い。
7. 貞元地区南（釜神以外）
 - ・ 水田地帯が割合を大きく占める。
 - ・ 畑利用は、集落近くの小規模な畑と、台地でのまとまった利用が見られる。
 - ・ 休耕地の割合が非常に少ない。
 - ・ 東端に資材置き場が見られる。
8. 八幡地区
 - ・ ほとんどの土地を水田が占める。
 - ・ 水源が豊富。
 - ・ 荒地が非常に少ない。
 - ・ 水が豊富なところでは、休耕地があまり見られない。
9. 新御堂地区
 - ・ 休耕地がない。
 - ・ 貞元地区で、荒地が占める割合が一番高い。
 - ・ 樹林地が多く、耕作利用の割合が少ない。
 - ・ 圃場整備された農地がなく、農業条件悪い。
10. 杉谷地区
 - ・ ほとんどの土地が水田利用。
 - ・ 休耕地が少ない。
 - ・ 北側は平地で、南側は棚田の耕作。
 - ・ 北側の道路に面した位置に資材置き場・駐車場が見られる。
 - ・ 住宅の近くにも資材置き場が見られる。
11. 郡地区
 - ・ ほとんどの土地が水田利用。
 - ・ 畑はほぼない。
 - ・ 幹線道路沿いに休耕地がまとまっている。
 - ・ 東側に事業所と大きな資材置き場が存在。

まとめ

1. 都市に近すぎると幹線道路など、開発の影響を受けて荒地が増加する傾向が見られた。
2. 山に近すぎても、整備された農地が少なく、荒地が増えてしまっていることがわかる。
イノシシなどによる獣害の影響もある。
3. 実際に歩いた印象より、休耕地・荒地の割合が多いと思った。
4. 山間地の農村に比べると、まだ荒れている土地は少なく、この状態を向上・維持していくことが望まれる。

10～2月 余暇に関するインタビュー調査

齋藤先生は自主的に10月～2月の3日間に亘り、11名の方たちと個別に1～1.5時間インタビューしました。22年度も引き続き実施し、まとめと報告がされる予定です。

2月 年度末報告会

先生から1年の活動を総括して、お話がありました。

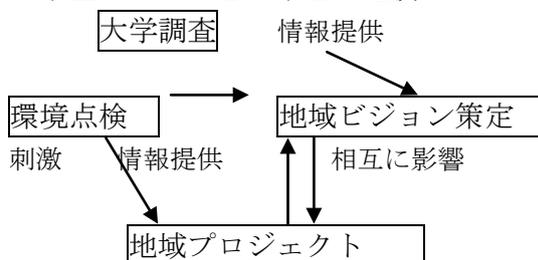
◎まちづくりの事例（7月の見学に関連して）

- ・房総一棚田、みんなみの里（かかしコンクール、地元の物のみ販売）、和田町小学校を改築、子どもに地元の寿しづくり。
- ・多古町の里山（手書きの看板、不耕起栽培道の駅「栗源」・クラインガルテン。
- ・三島市 富士山の湧水を自然再生、都市の中に田舎の風景を行政・企業・住民で取組。
- ・新潟県高柳町 かやぶきの家に宿泊

◎今後の活動に向けて

①自主的な取り組みが出てきた（ミカン狩り、もったいない運動、市民農園等）

- まちづくりの芽が出てきた
- 学生の参加など大学との連携



②調査を通じて（中間報告）

- ・全階層で地域の屋外空間利用が減っている。（人に会わない）、非農化も進んでいる。
→屋外空間の見直し
 - ・若年層の居場所（同世代が少ない・機会がない）
 - ・全階層（特に若年層）で個人的余暇活動が増えている。
 - ・まちづくり委員会の活動内容や意義が知られない。
- 例えば、貞元地域まちづくり推進委員会
青年部会・婦人部会（独立した権限・予算）
（何のため？居場所づくりや自身の楽しみのための活動） サイクリング・イベント

- ・バーベキュー・TV大会???

③地域づくりはなんのため

- 地域のため（利益）なのか
 - 個人の楽しみ（利益）のためなのか
- Iだけでは息切れ、IIだけでは続かない
農村における先人の暮らし、生き方を学び（WS、古老の聞き取りなど）

私たちはここでどのように暮らしていけば良いか考えること（地域ビジョンの策定）

◎終わりに

なんとなく見えてきた方向性

- ・農業・農家資源を活かす
- ・新しい助け合いの仕組み（相互扶助）
- ・さらに外の力（都市住民・「学生」）を当てにする。（付き合い・お金・労働力・エネルギー）
- ・お金が回ればなおよい（個人の楽しみ+地域のため、新しい助け合い+新しい生業）
- ・あせらず時間をかけて
- ・楽しく
- ・色々な階層の人を巻き込みながらやってみましょう。

◎来年度予定

- ① 環境点検WS 2回中富+貞元（全集落終了）
- ② WS結果の整理（大学）
- ③ 上記の結果を基に、地域ビジョンの策定WS（1. ビジョンの頭出し→2. ビジョンを絞る）
- ④ 余暇生活アンケート調査（貞元編）
余暇生活アンケート調査（市街地編）

地域の動き

1. 農園使用者 募集
当会委員の半澤芳子さん宅で、貞元（通称上の台）に開園しました。問い合わせ
やましよう（屋号） 0439-52-8172
2. 貞元地域土地利用に伴う意見交換会
2月18日、地域特性を活かした有効な土地利用について、君津市総合企画課、貞元地区自治会長、まちづくり役員が出席して開催された。今後は地域住民の出席を含め、継続して開催される予定です。まちづくり推進委員会の活動を可能な範囲で反映したいと考えています。

新たな貞元地区文化の創造

「もったいない」という言葉は、かつて日本人の間でごく自然に使われていました。

しかし、大量生産・消費・廃棄という社会経済システムを生み出した高度成長時代を経て、便利で豊かな生活を手に入れることの代償として、地球の温暖化や資源の枯渇など、地球環境全体に影響を与えるまでになっています。

そこで、貞元地域まちづくり推進委員会では、“ひと・もの・自然を大切に。その価値を最大限に活用する”ことに寄与することを目的として、「もったいない活かそう地域資源運動」を展開し、できるものをできるところから取り組むこととしました。

今年度は、まちづくり推進委員に「もったいない活かそう地域資源メニュー表」の作成依頼

もったいない活かそう地域資源運動

をしました。回答者71名の集約結果は以下のとおりです。

22年度は、上記報告を基に、問題点を把握し改善したうえで、貞元地域各戸に作成依頼をします。その後、貞元地域内を対象に本運動を展開し、貞元地域の成果を踏まえ、貞元地域外への展開を考えています。

共通事項

インターネットの利用について

- ・見ることができる 53名
- ・教えてほしい6名
- ・必要としない 8名
- 回答なし 4名

教えてほしいを含めると、83%が見ることができるので、インターネットの利用は、本運動に効果的な方法と判断されます。

NO	メニュー	できる	ほしい	NO	メニュー	できる	ほしい	NO	メニュー	できる	ほしい
	生産物の販売等								一般その他		
1	地元米	7	8	26	柿(さかき) 毎月	2	3	1	市民農園の提供	4	
2	キャベツ	2	9	27	ゆず	2	2	2	里山整備の応援	6	3
3	大根	4	6	28	だいたい		2	3	小糸在来オーナー制	2	2
4	にんじん	2	8	29	うらじろ		1	4	古民家の賃貸		2
5	さつまいも	1	7	30	わら	1		5	房総往還の整備	8	1
6	サトイモ	2	7	31	竹の子狩り	1	3	6	道路に花植え	5	2
7	小糸在来	3	6	32	ミカン狩り		2	7	稲作の応援	4	
8	白菜	1	8	33	ごぼう		3	8	畑作の応援	1	1
9	ほうれん草		9	34	ピーマン	1	3	9	休耕地の手入れ	3	2
10	トマト	1	8	35	キュウリ	1	3	10	果樹園の手入れ		
11	いちご	1	7	36	木炭		1	11	発電機貸し(無料)	1	1
12	かぶ	1	7	37	竹炭			12	唐人凧の作り方		
13	竹の子	2	9	38	メロン		2	13	竹とんぼの作り方	1	
14	ミカン	1	5	39	スイカ		1	14	上総掘りの研修	1	
15	栗	2	7	40	レタス		3	15	水車の製作	2	2
16	柿	2	7	41	ネギ	1	4	16	地域づくりの事例紹介	1	
17	キウイフルーツ	1	3	42	玉ねぎ		5	17	農林関係研修の紹介	1	
18	椎茸	1	10	43	きんかん	1	2	18	貸耕運機	1	
19	もみがらクン炭	2	1	44	エーシャレット	1	1	19	貸管理機	1	
20	もみがら	3	1	45	おかわかめ	1	1	20	貸もミスリ機(小)	1	
21	もみ殻の木酢液	1		46	夏みかん	1	2	21	設計(建物すべて)	1	
22	竹酢液		1	47	はっさく	1	2	22	名刺	1	
23	梅	2	2	48	ゴーヤ	1		23	ポスター	1	
24	君子欄	1	1	49	じゃがいも	1		24	チラシ	1	
25	カラープリントシャツ	1	1	50	みつば	1		25	危険木伐採、高枝落とし	1	

調査結果(特記事項)

1. 登録するメニューにはなかったが、登録料は支払いする方が3名いた。
2. ボランティア(房総往還の整備、道路に花植え等)や特殊技能者(上総掘りの研修、水車の製作、危険木伐採等)を中心とした新たなグループ活動の糸口が発見された。